

梅田大使ご挨拶案

- シンチャオ・カック・クイビ。
- 日本政府を代表して一言申し上げます。
- 遠路はるばる本日の署名式に参加頂いた被供与団体の代表を始めとする御列席の皆様に対し、感謝申し上げます。
- 「草の根・人間の安全保障無償資金協力」は、草の根レベルでの裨益効果が極めて高い事業に対し、必要な資金協力を行うものです。ベトナムでは1992年から開始し、昨年度までに約630件総額約5,300万米ドル相当の協力が実施されてきました。
- 本日署名を行う8件、総額約120万ドルの協力は、ダナン枯葉剤被害者協会(DAVA)が運営するセンターへの車両整備をはじめ、本年2月に竜巻に突如襲われ甚大な被害を受けたホアビン省の医療施設の再整備、小児科医療機材の整備、初等教育施設の建設、村落間の住民の安全な通行を確保するための道路整備、不発弾・地雷除去、といった多岐な分野に亘ります。また、地域的にも、タイグエン省、ホアビン省、ナムディン省、タインホア省、ゲアン省、クアンビン省、クアンチ省、ダナン市、クアンガイの8省で実施されます。
- 日本政府は、このような協力を通じ、ベトナムの均衡のとれた開発に少しでも貢献したいと考えます。また、今回署名する事業を通じ、ひとりでも多くの方々の未来が明るくなることを祈念致します。

- 日越関係全般について一言述べます。日越外交関係樹立45周年に当たる今年、一年を通じ日越両国で 230 以上の記念イベントが中断なく開催されました。この中には、NHK 交響楽団が初のベトナム公演、杉良太郎特別大使とベトナム国営放送が共催した日越友好音楽祭、ベトナム公安省・毎日新聞社などの共催による「交通安全ベトナム絆駅伝」等も含まれています。
- 日越両国は、多くの戦略的利益を共有しています。日本は、ベトナムの更なる発展は、東アジア地域全体の安定と発展にとって、とても重要であると認識しています。日本はベトナムの「広範な戦略的パートナー」として、政治・安全保障、経済、文化・スポーツ等全ての分野において、ベトナムとの連携を強化していきたいと考えています。
- 最後に、皆様の御健勝と活動の御発展、日越関係の更なる増進をお祈りし、御挨拶とさせていただきます。
- シン・チャンタイン・カム・オン。(了)